

教科	音楽	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
曲にふさわしい発声で歌おう	4	声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりを理解する。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。歌唱表現に関わるイ-(イ)の知識やウ-(ア)の技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。	パートの音域に応じた声の音色や響きと発声との関わりについて理解している。 音域や強弱に応じた発声や歌う姿勢などを身に付けている。	歌唱表現に関わる知識(パートの音域に応じた声の音色や響きと発声との関わり)や技能(音域や強弱に応じた発声や歌う姿勢など)を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
サミングや息のコントロールを身に付けて表現を工夫しよう	3	曲想と音楽の構造との関わりを理解する。 創意工夫を生かした表現で演奏するための息のコントロールやサミングなどの技能を身に付ける。器楽表現に関わるイ-(ア)の知識やウ-(ア)の技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する。器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。	曲想と音楽の構造との関わりを理解している。 創意工夫を生かした表現で演奏するための息のコントロールやサミングなどの技能を身に付けている。	器楽表現に関わる知識(曲想と音楽の構造との関わり)や技能(息のコントロールやサミングなど)を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
リズムパターンをつくらう	3	音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴を理解する。 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける。創作表現に関わるイ-(イ)の知識やウの技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する。創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。	リズムの反復や組み合わせによるリズムパターンの特徴を理解している。 条件に沿って八分音符音をつなげる技能を身に付けている。	創作表現に関わる知識(リズムの反復や変化などによるリズムパターンの特徴)や技能(条件に沿って八分音符をつなげたり組み合わせたりする技能)を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫している。	創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
曲の構成のよさや面白さを味わいながら鑑賞しよう	4	曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。鑑賞に関わるイ-(ア)の知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組む。	曲想とリズムや旋律の反復による音楽の構造との関わりについて理解している。	鑑賞に関わる知識(曲想とリズムや旋律の反復による音楽の構造との関わり)を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

<p>曲の形式を生かして歌おう</p>	<p>3</p>	<p>曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりを理解する。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。歌唱表現に関わるイ-(ア)の知識やウ-(ア)の技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。</p>	<p>曲想と形式や歌詞との関わりについて理解している。 音域や強弱に応じた発声、子音や母音の発音などを身に付けている。</p>	<p>歌唱表現に関わる知識(曲想と形式や歌詞との関わり)や技能(音域や強弱に応じた発声、子音や母音の発音など)を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。</p>	<p>歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。</p>
<p>箏の基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう</p>	<p>3</p>	<p>曲想と音楽の構造との関わりを理解する。 創意工夫を生かした表現で演奏するための右手の使い方や押し手などの技能を身に付ける。器楽表現に関わるイ-(ア)の知識やウ-(ア)の技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する。器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。</p>	<p>曲想と音楽の構造との関わりを理解している。 創意工夫を生かした表現で演奏するための右手の使い方や押し手などの技能を身に付けている。</p>	<p>器楽表現に関わる知識(曲想と音楽の構造との関わり)や技能(右手の使い方や押し手など)を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。</p>	<p>器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。</p>
<p>平調子の特徴を生かして音楽をつくろう</p>	<p>3</p>	<p>音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴を理解する。 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける。創作表現に関わるイ-(ア)の知識やウの技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する。創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。</p>	<p>平調子の構成音による特徴、リズムパターンの反復や組み合わせの特徴を理解している。 課題に沿った音やリズムパターンを選択する技能を身に付けている。</p>	<p>創作表現に関わる知識(平調子の構成音による特徴、リズムパターンの反復や組み合わせの特徴)や技能(課題に沿った音やリズムパターンを選択する技能)を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫している。</p>	<p>創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。</p>
<p>オーケストラやパイプオルガンによる表現を鑑賞しよう</p>	<p>3</p>	<p>曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。鑑賞に関わるイ-(ア)の知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組む。</p>	<p>曲想と動機の現れ方、ソナタ形式やフーガの構造との関わりについて理解している。</p>	<p>鑑賞に関わる知識(曲想と動機の現れ方、ソナタ形式やフーガの構造との関わり)を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p>	<p>鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。</p>
<p>曲の特徴を生かして歌おう</p>	<p>3</p>	<p>声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりを理解する。 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。歌唱表現に関わるイ-(イ)の知識やウ-(イ)の技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。</p>	<p>言葉の発音と音域(5度の跳躍)に応じた発声との関わりについて理解している。 全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う技能を身に付けている。</p>	<p>歌唱表現に関わる知識(言葉の発音と音域(5度の跳躍)に応じた発声との関わり)や技能(全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う)を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。</p>	<p>歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。</p>

<p>雅楽の多様な表現を鑑賞しよう</p>	<p>3</p>	<p>音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解する。鑑賞に関わるイ-(イ)の知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組む。</p>	<p>雅楽の音楽的な特徴とその背景となる文化や歴史と関わりについて理解している。</p>	<p>鑑賞に関わる知識(雅楽の音楽的な特徴とその背景となる文化や歴史と関わり)を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p>	<p>鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。</p>
<p>曲想を味わいながら合わせて歌おう</p>	<p>3</p>	<p>曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりを理解する。創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。歌唱表現に関わるイ-(ア)の知識やウ-(イ)の技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。</p>	<p>曲想と楽曲の構造との関わりについて理解している。他の声部を聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。</p>	<p>歌唱表現に関わる知識(曲想と楽曲の構造との関わり)や技能(他の声部を聴きながら他者と合わせて歌う)を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。</p>	<p>歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。</p>
<p>郷土のさまざまな芸能を味わいながら鑑賞しよう</p>	<p>2</p>	<p>我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。鑑賞に関わるイ-(ウ)の知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組む。</p>	<p>郷土の音楽や芸能における表現の特徴とその多様性について理解している。</p>	<p>鑑賞に関わる知識(郷土の音楽や芸能における表現の特徴とその多様性)を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p>	<p>鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。</p>